



北上川上流洪水減災対策協議会（仮称）の開催 ～大規模水害に対する減災に向けて～

本協議会は、平成 27 年 9 月関東・東北豪雨など、近年の雨の局地化・集中化・激甚化を踏まえ、北上川上流で発生しうる大規模な水害に備え、国、県、市町村が連携して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するものです。

新たに「水防災意識社会再構築ビジョン」として、全ての直轄河川と、その沿川市町村において、平成 32 年度を目途に、水防災意識社会を再構築する取り組みを行います。

1. 開催日時

平成 28 年 5 月 17 日（火） 10:00～12:00

2. 実施場所

岩手河川国道事務所 2階 大会議室

3. 議事（予定）

- (1) 北上川上流洪水減災対策協議会規約（案）等について
- (2) 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取り組みについて
- (3) 水害リスク情報や取り組み状況の共有について
- (4) 減災のための目標（案）について

4. 公開等

- (1) 本会議は公開としております。
- (2) 報道関係者の席を用意しております。
- (3) 一般の方で協議会の傍聴を希望される方の席も用意しておりますが、会場の都合により数に限りがありますので先着順とさせていただきます。

《発表記者會：岩手県政記者クラブ、東北専門記者會》

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

〒020-0066 岩手県盛岡市上田四丁目 2-2

電話 019-624-3166（調査第一課）

副所長（河川） ミウラ 三浦 ヨシアキ 義昭（内線 204）

調査第一課長 イワサワ 岩沢 ヒロアキ 博章（内線 351）

「北上川上流洪水減災対策協議会（仮称）」

構 成 員 名 簿

（構成員）

盛岡市長
花巻市長
北上市長
遠野市長
一関市長
八幡平市長
奥州市長
滝沢市長
雫石町長
岩手町長
紫波町長
矢巾町長
西和賀町長
金ヶ崎町長
平泉町長
気象庁 盛岡地方気象台長
岩手県 総務部長
岩手県 県土整備部長
国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所長
国土交通省東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所長

（事務局）

国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所 調査第一課
岩手県 県土整備部 河川課

水防災意識社会 再構築ビジョン

H27.12.11 国交省記者発表

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策> ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策> ・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫（対策例）>

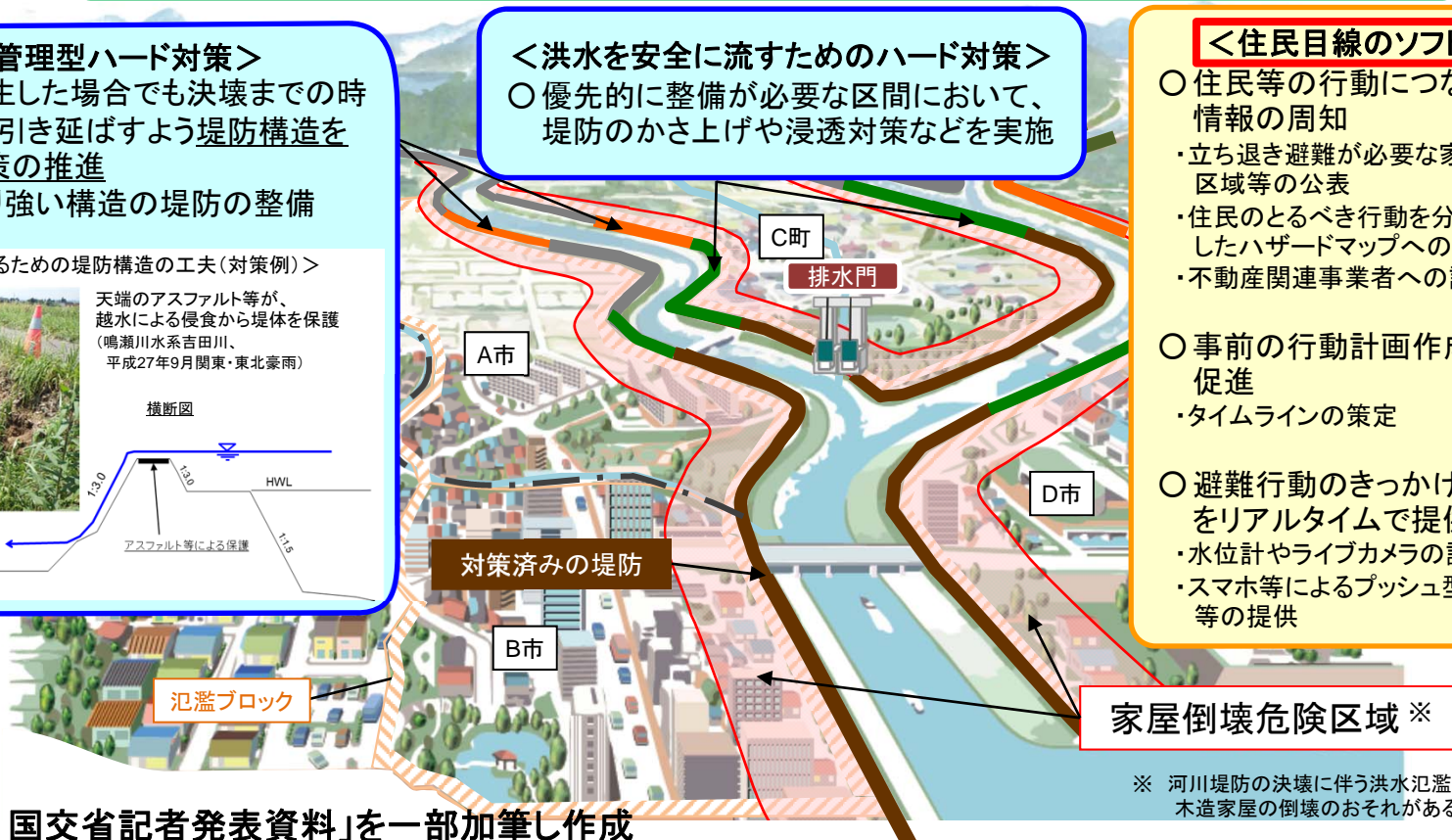


<洪水を安全に流すためのハード対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
 - ・住民のとりべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



家屋倒壊危険区域※

※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域